

9-1	投資で社会貢献ができる!?	所属 東洋大学文学部 氏名 栗原 久
資料名	<p>第一生命保険「予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) が発行するワクチン債への投資について」 (https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019_025.pdf)</p> <p>太陽生命保険「COVID-19 ワクチン債」の発行、引き受けならびに投資について」 (https://www.taiyo-seimei.co.jp/company/notice/download/press_article/2020/20201119.pdf)</p>	
資料内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワクチン債とは IFFIm(予防接種のための国際金融ファシリティ)が発行する債券である。 ○ ワクチン債の発行で得られた資金は、発展途上国での予防接種の普及や医療システムの強化などのために使われる。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策として、発展途上国がワクチンを購入するのを支援するためにも、ワクチン債が発行されている。 ○ 日本の生命保険会社などの機関投資家の中には、ワクチン債への投資を行っているところがある。これは、ESG投資の一環である。 	
教科書等との関連	<p>中学校公民的分野 貨幣の役割 金融 貧困問題 より良い社会を目指して 高等学校公民科 金融 国際的な格差の是正</p>	
キーワード	<p>コロナ 国際経済 格差 金融 ESG投資 dollar voting</p>	
ねらい	<p>◆「さまざまな国際問題」で南北問題について学習した後に、発展途上国で新型コロナウイルスワクチンの接種率を高める方法を検討することを通して、「より良い社会」を形成するには資金確保の問題が重要であることに気づかせる。</p>	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問 新型コロナウイルスワクチンの接種率には、国により大きな差があります。一般には、先進国の接種率が高く、発展途上国は低い状況が続いています (https://toyokeizai.net/articles/-/447982)。これは、言うまでもなく、発展途上国ではワクチン接種のための資金確保が困難だからです。それでは、この問題に対し、どのような解決方法があるのでしょうか。</p> <p>解説 これまでも、発展途上国の子どもたちにワクチンを接種する資金を確保するために、ワクチン債を発行する試みが行われてきました。ワクチン債は、社会貢献型の債券です (社会貢献債, ソーシャルボンド)。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種を促進するためにも、ワクチン債が発行され、日本の保険会社などの機関投資家が購入しています。これは、ESG投資の一環です。Eは環境 (environment), Sは社会 (social), Gは企業統治 (governance) です。環境に優しく、社会的な課題に取り組もうとしていて、企業統治がしっかりしている企業などに投資しようとする考えです。もちろん投資ですから、保険会社は資金の運用先の一つとしてワクチン債を購入しています。当然ですが、一定の利回りを見込んでいます。ワクチン債のように、投資によって社会への貢献ができるケースがあります。</p> <p>選挙の時の一票が社会のあり方を決めるように、財布の中の1000円を日々何に使うのかが私たちの社会のあり方を決めるのです。これを、dollar voting (円投票)といいます。「より良い社会」を作るのも、私たちのお金の使い方しだいということです。</p>	
備考	<p>「金融の仕組みと働き」での学習の成果を、「国際的な格差の是正」の学習に活用したい。</p>	